

# 平成 23 年度広島地区安全講演会「安全管理業務の見える化」

主催 中国地区化学工学懇話会, 化学工学会中国四国支部, 化学工学会安全部会  
共催 岡山地区化学工学懇話会, 山口地区化学工学懇話会, 徳島化学工学懇話会  
協賛 安全工学会

工場の業務の仕組みを改善するために、業務の見える化がなぜ必要なのか、見える化することによってどのような効果が得られるのか、について講演を行います。内容として、業務プロセスを記述する手法と安全部会が提案する標準的なモデルの紹介、運転現場に適用した事例の紹介、業務プロセスを記述する際に有効な、基本となる考え方について紹介します。

参加対象者：工場の安全部門、運転部門、保全部門の管理者、スタッフ

開催日時：平成 23 年 5 月 27 日（金）13:00～19:30

開催場所：広島ガーデンパレス(〒732-0052 広島市東区光町 1-15、Tel.: 082-262-1123、JR 広島駅新幹線口徒歩約 5 分)

## プログラム

主催者挨拶(13:00～13:10)

[講演] (13:10～17:00)

### 1. 「プロセス安全管理の論理化を目指して」(13:10～14:10) 東京工業大学 教授 仲勇治氏

どの企業も安全の重要性を認識しながらも不況になると真っ先に安全関係の費用を削り始めるのは、何か規制に対応する安全管理が専らであり、必ずしも自発的に管理の仕組みを作る意欲が表面化してこない。これは、規制に要求されている安全管理と日常業務に距離がありすぎる可能性がある。この距離を縮めて、**安全管理の仕組みと生産管理の仕組みが一体構造になる**可能性を議論する。従来からある安全管理の仕組みを対峙させるのではなく、旨く協調・統合することにより、より良い戦略的な安全管理の仕組みが構築できる可能性について議論を展開する。

### 2. 「問題の所在と<見える化>の必要性」(14:10～15:10) 東京工業大学 准教授 瀧野哲郎氏

プラントライフサイクルは、開発、設計、建設、運転、保全の業務ステージによって構成され、業務ステージの不具合は漏洩、火災、爆発、環境・人健康影響として顕在化する。ライフサイクルで安全を管理するためには、各業務ステージの技術、業務ステージ間の技術、技術の根拠情報を含めたライフサイクルエンジニアリング技術の3つのレベルで生産技術を管理する仕組みが必要となる。ライフサイクルを通じて、これら3つのレベルで技術を管理する仕組みを作るためには、エンジニアリングの実施規範である PDCA (Plan, Do, Check, Action) サイクルに基づき、ライフサイクル業務の「見える化」が必要となり、業務を業務機能として「見える化」が適用することを論ずる。

### 3. 「運転業務プロセスモデルの構築と活用」(15:10～16:10) 労働安全衛生総合研究所 島田行恭氏

本講演では業務プロセスモデル構築の基本型として用いているPDCAサイクルと資源提供の関係を表現したテンプレートを紹介するとともに、これに基づいて構築された運転管理業務プロセスモデル構築の概要と活用方法を紹介する。これにより、業務プロセスモデルが「プロセス安全に関する情報共有」や「業務改善」などにどのように役立つのかを解説する。

### 4. 「パネル討論会」(16:10～17:00) (事前・当日の質問事項について会場と講師の双方向ディスカッション)

講演者と出席者とのディスカッションを通じ、現場の抱えるプロセス安全管理の問題点や解決策の議論を深める。事前の質問事項や当日の講演の中での疑問点を出席者から紙面や口頭で提示頂き、双方向で具体的なパネル討論とする。

[交流会] (17:30～19:30)

交流会は相互の交流を目的としたものです。気軽にご参加下さい。

参加費（消費税込み）：

講演会参加費 15,000 円（化学工学会・懇話会会員）、25,000 円（非会員）

3,500 円（学生会員）、7,500 円（学生非会員）

交流会参加費 4,000 円

申込方法：参加者氏名、勤務先、所属、連絡先（住所、電話、FAX）、送金予定日、交流会参加／不参加を明記し、電子メールまたは FAX でお申込み下さい。参加費は、現金書留または銀行振込（もみじ銀行西条支店普通預金 1058275 中国地区化学工学懇話会）をご利用下さい。

申込締切：平成 23 年 5 月 16 日（月）

申込先：〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1（広島大学大学院工学研究科化学工学講座内）

公益社団法人化学工学会 中国地区化学工学懇話会事務局

TEL (082)424-7718、FAX (082)424-5494、E-mail ysasa@hiroshima-u.ac.jp